



平成 20 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 リオン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井上清恆
 (コード番号 6 8 2 3 東証第 2 部)
 問合せ先 取締役管理統括部長
 山根 昇
 (TEL.042-359-7099)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 4 月 16 日開催の取締役会において、平成 20 年 2 月 1 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想および平成 19 年 11 月 5 日の決算発表時に公表した配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	19,000	1,430	1,310	700	68.74
今 回 修 正 予 想 (B)	19,200	1,200	900	350	34.23
増 減 額 (B - A)	200	230	410	350	34.51
増 減 率 (%)	1.1%	16.1%	31.3%	50.0%	50.2%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	19,300	1,386	1,284	512	51.02

(2) 業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	16,000	1,150	1,100	600	59.17
今 回 修 正 予 想 (B)	15,990	880	640	290	28.36
増 減 額 (B - A)	10	270	460	310	30.81
増 減 率 (%)	0.1%	23.5%	41.8%	51.7%	52.1%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	16,532	1,160	1,111	388	38.62

2. 業績予想の修正理由

当連結会計年度における売上高は、前回発表の予想値を若干上回る 192 億円となる見込みであります。これは、当社の連結子会社のうち 2 社が、決算期を従来の 2 月から 3 月に変更したことに伴い、実質 13 ヶ月分の売上高を連結したことが主な要因であります。

しかしながら、補聴器事業において、輸出台数の増加等により比較的安価で原価率の高い製品の割合が増えたことなどから、売上原価率につきましては前連結会計年度に比較して増加する見通しであります。

また、平成 20 年度から適用される棚卸資産の評価に関する会計基準を踏まえ、部品在庫を精査した結果、製品の設計変更などの理由で、今後使用する可能性が低い部品を抽出し、廃棄処理することにいたしました。

さらに、当社を担当する監査法人（新日本監査法人）による期末日以降の会計監査の結果、当社の認識において長期前払費用に計上すべき資産の一部は、費用計上すべきであるとの見解が示されたことにより、売上原価および試験研究費が増加する見込みであります。加えて、同監査法人より、経営状況が不明な一部の得意先等について、貸倒引当金を保守的に見積計上する必要性を指摘されたため、販売費が増加する見込みとなりました。

上記、費用の増加を項目別に分類しますと、次の通りとなります。

売上原価

比較的原価率の高い製品の増加によるもの 150 百万円

長期前払費用のうち売上原価と認識すべきもの 26 百万円

試験研究費

長期前払費用のうち試験研究費と認識すべきもの 9 百万円

販売費

売上債権のうち貸倒引当金を計上すべきもの 41 百万円

営業外費用

棚卸資産廃棄損 95 百万円

これらの結果、営業利益は予想に比べて 2 億 3,000 万円減少の 12 億円、経常利益は 4 億 1,000 万円減少の 9 億円、当期純利益は 3 億 5,000 万円減少して 3 億 5,000 万円となる見込みであります。

3. 配当予想の修正内容

基 準 日	1 株当たり配当金	
	期 末	年 間
前 回 発 表 予 想	18 円 00 銭	18 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	15 円 00 銭	15 円 00 銭
増 減 値	3 円 00 銭	3 円 00 銭
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	15 円 00 銭	15 円 00 銭

4．配当予想の修正理由

配当金につきましては、利益水準が予想を大きく下回る見通しとなったため、増配は困難と判断いたしました。従いまして、前回の予想数値 18 円を修正し、前期と同額の 15 円を継続させていただき見込みであります。

なお、本件は平成 20 年 6 月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

* 上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上